

	頁
目次	
口絵	
序	
凡例	
細目次	
第一編 重工業	
第一章 愛知県の重工業概況	3
一 第一次大戦と愛知県重工業・電力業	3
二 第一次大戦後の愛知県重工業	10
三 満州事変以降の愛知県重工業	17
第二章 金属・機械器具工業	21
第一節 金属工業	21
一 第一次大戦期の特殊鋼生産の開始	21
二 大同電気製鋼所の特殊鋼事業	23
三 豊田自動織機製作所の製鋼事業	29
第二節 鉄道車輛工業	36
一 鉄道車輛企業の創立	36
(1)鉄道車輛企業設立経緯	36
(2)日本車輛製造の設立	41
(3)鉄道車輛製造所の設立	45
二 明治中後期の鉄道車輛事業—日本車輛製造の事業経営—	68
三 第一次大戦以降の鉄道車輛事業	83
(1)日本車輛製造の事業展開	83
(2)技術と労働	85
(3)製品販売と代理店	88
第三節 工作機械工業	95
一 製機製造から工作機械製造へ—大隈鉄工所—	95
二 工作機械製造事業の経営—大隈鉄工所—	103
第四節 自動車工業	113
一 自動車業界の状況と産業政策	113
二 自動車製造事業への参入	133
第五節 航空機工業	140
一 第一次大戦以降における航空機生産の開始	140
(1)三菱の参入	140
(2)愛知時計電機の参入と事業化	153
二 満州事変の勃発と航空機生産の拡大	168
(1)三菱重工業名古屋航空機製作所	168
(2)愛知時計電機	176
(3)航空機部品工業への参入と拡大	179
第六節 軍工廠	187

(1)日露戦争と熱田兵器製造所の設立	187
(2)名古屋兵器製造所の設立	191
(3)千種機器製造所の設立と航空機製造の開始	195
(4)陸軍造兵廠名古屋工廠	199
第七節 その他の機械工業	208
(1)電気機械工業	208
(2)自転車工業	211
第三章 電力・ガス業	219
第一節 電力業	219
一 創業期から一九〇〇年代までの電力業	219
(1)電力企業創業期の状況	219
(2)水力発電の開始と福沢桃介	230
二 第一次大戦期の電気事業	235
三 両大戦間期の電気事業（一九三六年まで）	244
(1)卸売電力会社の登場と工業用電力需要の増大	244
(2)名古屋電灯（東邦電力）による周辺電力会社の合併	254
(3)東邦電力と東京電灯の「電力戦」	264
(4)電力料金値下げ運動とそれへの対応	271
第二節 ガス業	278
一 明治期のガス業—照明用が中心—	278
二 第一次大戦期以降のガス業—熱エネルギーとして—	281
第二編 戦時経済と工業	
第一章 愛知県の戦時経済概況	295
一 戦時工業動員の開始	295
二 戦時経済動員行政	298
三 戦時経済状況	329
四 民需産業の企業整備	372
(1)民需産業整備の概観	372
(2)蚕種業の整備	380
(3)莫大小製造業の整備	381
(4)織物業の整備	386
(5)染色業の整備	392
(6)製函業の整備	393
(7)印刷業の整備	398
第二章 繊維工業	407
第一節 繊維工業概況	407
一 織物業における企業合同と生産の実相	407
二 織物業における同業組合の統合	414
三 紡績企業による統合	415
第二節 製糸業	421
一 製糸統制の進展	421

二 企業整備の展開	424
第三節 紡績業	434
一 企業合同の開始	434
二 軍需工場への転用	440
第四節 織物業	458
一 尾西	458
(1)尾西織物協議会の結成	458
(2)企業整備の展開	461
二 知多	478
(1)同業組合の組織替と生産統制	478
(2)原糸の配給と生産の推移	487
三 東三河	492
(1)軍需品生産の拡大	492
(2)組合統制の展開	499
第三章 窯業	509
第一節 産地の動向	509
一 価格の公定と資材の配給	509
二 軍需工業への転換と代用品の生産	517
三 企業整備の進展と技術の保存	523
第二節 企業の対応	533
一 日本特殊陶業の設立と発展	533
二 軍需生産の拡大と資材の確保	540
三 空襲と工場	553
第四章 食品工業	561
第一節 酒造業	561
一 業界団体の動向	561
(1)愛知県酒造組合联合会	561
(2)豊醸組	568
(3)半田酒造組合	572
二 統制の実態—販売と生産—	580
(1)統制	580
(2)販売	593
(3)生産	598
三 雇用と労働	603
第二節 加工食品工業	607
一 醸造業	607
(1)ミリン	607
(2)酢	613
二 トマトソース・ケチャップ・缶詰	615
第五章 金属・機械器具工業	625
第一節 金属工業	625

一 豊田製鋼の設立	625
二 大同製鋼の膨張	644
第二節 繊維機械工業	646
一 軍需工業への転換	646
二 軍需企業の設立	653
三 軍需生産の拡充と工場疎開	661
第三節 鉄道車輛工業	673
一 戦時下の事業経営	673
二 戦時下の雇用と労働	682
第四節 工作機械工業	691
一 兵器生産への進出	691
二 工作機械工業への転換と参入	704
第五節 自動車工業	724
一 トヨタ自動車工業の設立	724
二 戦時下のトヨタ自動車工業	742
第六節 航空機工業	767
一 日中戦争期の航空機工業	767
(1)三菱重工業名古屋航空機製作所	767
(2)愛知時計電機	772
(3)航空機部品工業	777
二 太平洋戦争期の航空機工業	780
(1)三菱重工業名古屋航空機製作所	780
(2)愛知航空機の設立と航空機事業の拡大	798
(3)航空機部品工業	804
第七節 軍工廠	808
第八節 その他の機械工業	830
(1)電気機械工業	830
(2)光学機械工業	834
第六章 電力・ガス業	839
第一節 電力業	839
一 第一次電力国家管理期の電気事業	839
二 第二次電力国家管理期の電気事業	849
第二節 ガス業	861
解説	871
あとがき	
資料提供者及び協力者	
愛知県史編さん関係者名簿	